



## MINOKAMO CHALLENGER AWARD 2022

### 開催報告書

公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

みなさまにおかれましてはますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

令和4年2月20日に、「MINOKAMO CHALLENGER AWARD 2022」を開催しました。コロナ感染防止のため、美濃加茂市民不参加、関係者も限定しての開催となりましたが、チャレンジャーが本気で起業、事業に取り組む熱気を会場内、オンラインでも伝えることができたのではないかと思います。

これもひとえに、ご尽力いただいた皆様、多大なご支援を賜り誠にありがとうございました。

チャレンジャーが美濃加茂市の課題に取り組む事業プランを超えて、自分たちが楽しく、稼ぐという観点から事業と向き合っていたのが印象的でした。また、新型コロナウイルス蔓延のため日程を再調整しての実施でしたが、関係各所には多大なるご支援をいただきましたこと、感謝申し上げます。今後もチャレンジャー5名に対して1年間サポートをし、軌道に乗るまで伴走していきます。

今後とも地方創生を目指す地域起業家や地域のワカモノの発表の場を提供し、彼らの地方創生事業の「スイッチ」を入れる機運醸成を行っていきます。

私たちのミッションである「地域起業家が人気業種となり、地方創生事業が各地域で成功する」実現のため、これからも全力で進めてまいります。

これからもどうぞ、みなさまのご支援賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

令和4年4月吉日

MINOKAMO JAPAN CHALLENGER AWARDプロデューサー  
公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト 代表理事  
中川直洋

# MINOKAMO JAPAN CHALLENGER AWARD 2022とは

起業などの新事業の創出をサポートする美濃加茂市のプログラムです。  
地域の未来を活性化するため、さまざまな取り組みが行われています。  
当日は選りすぐりのプレゼンターたちが、新しい事業プランを美濃加茂市の皆様の前で発表します。  
発表された事業プランは、審査員の審査を受けてグランプリが選ばれます。  
グランプリは、「まちに元気があふれだすクラフトビール醸造所を美濃加茂に」を発表した仙田大騎さんでした。  
グランプリ受賞者には、チャレンジ支援金の授与が予定されています。  
グランプリ、他の発表者もここから1年間継続してサポートして参ります。



# 開催概要

- 場所: 美濃加茂市役所(〒505-8606 岐阜県美濃加茂市太田町3431-1)
- 日程: 2022年3月27日(日)
- 主催: 美濃加茂市、公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト
- サポート企業:  
レオスキャピタルワークス株式会社、面白法人カヤック 株式会社レイメイ藤井、  
Hamee株式会社 株式会社大和システムクリエート 株式会社クレオ、株式会社アイサイト  
弥蔵舎株式会社 ヤマサ醤油株式会社 株式会社WOW WORLD NIPPON ITチャリティ駅伝
- 協力金融機関: 十六銀行、大垣共立銀行、東濃信用金庫
- 協力教育機関: 岐阜県立加茂高等学校、岐阜県立加茂農林高等学校
- 事務局: 美濃加茂市、美濃加茂商工会議所、公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト
- 司会: 平野 裕加里、服部ひとみ

\*コロナ感染防止のため、一般参加は不参加





## MINOKAMO JAPAN CHALLENGER AWARDセミナー

日程：令和3年11月20日、21日

場所：美濃加茂シティホテル

講師：中川直洋

ゲスト：大津たまみ、山川太郎

内容：地方起業の教科書をテキストを使い5つのステップ（理念、戦略、社会を知る、パートナー、収益モデル）を講義

自分の事業アイデアを事業モデルにするワークショップを行いました。

## MINOKAMO JAPAN CHALLENGER AWARD

### 個別セッション

1回目 12月21日から個別指導

2回目 1月9日、13日から個別指導

3回目 3月13日から個別指導

オンライン（ワンツワン）

講師：中川直洋

発表に向け、事業モデルのブラッシュアップや発表の極意、資料作成など各人2回から3回個別に指導した。

# チャレンジャー1番

## 齊藤 麻亜久

### 美濃加茂発のエンジニアを育成しよう！ 生活とスキルを共有するフリーランスエンジニアの シェアハウスを作る

自分自身の実体験を通して、やりたいことがわからない学生 / 若者の道標になりたい、という強い思いでシェアハウス事業に踏み込んでいます。

美濃加茂での物件がなかなか見つからないため、現在は一足先に川辺町でシェアハウスの計画中とのこと。

#### フリーランスエンジニア用シェアハウスを作りたい！

- ・フリーランスエンジニアとプログラミングを学びたい学生/若者が交流したり、生活したりできる
- ・エンジニア同士でスキル・情報の共有
- ・学生/若者のプログラミング学習のサポート、キャリアサポート

美濃加茂発のフリーランスエンジニアを育成

#### 「フリーランスエンジニアとプログラミングを学ぶ 学生/若者が交流できるシェアハウス」を作りたい

- ・ 進路に悩む学生/若者にフリーランスという選択肢を
- ・ エンジニアシェアハウスで優秀なフリーランスエンジニアを育成
- ・ 美濃加茂のIT化、美濃加茂発のITベンチャー
- ・ 美濃加茂をより豊かに

1. 空き家・古民家の提供
2. ふるさとワーキングホリデーの導入

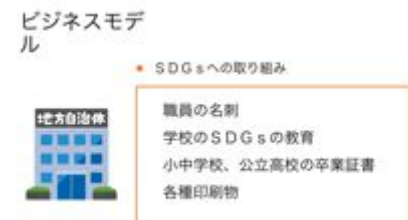


# チャレンジャー2番 伊藤広樹

## ファストファッション時代の リペーパー推進事業

今回都合が合わずに対面での参加は叶わず  
オンラインでの参加となりました。

ファストファッションが流行する裏側では、不  
必要になった衣服がまるで墓場の  
ように埋め立て地に葬られています。  
そこに目をつけ、不要になった衣服を  
「リペーパー」する事業を提案します。



# チャレンジャー

## ファストファッション時代の リペーパー推進事業

伊藤  
広樹





# チャレンジャー3番 鈴木日菜子

## 美濃加茂の若者が安心して探究活動を進めていける環境を届ける

高校生を中心とした学生は、「何かにチャレンジしたいけどどうしたらいいかわからない」というモヤモヤを抱えている。美濃加茂の学生たちも例に漏れず同じ気持ちを抱えており、その地方と呼ばれる世界の中で自分らしく生きるための活動を提案。

The collage includes several elements:

- About Leap:** A logo with a blue wing and the word "Leap". Text describes it as a project to create a safe environment for students to explore.
- Why?:** A section with three numbered points:
  - 1 SDGs未来都市
  - 2 ソーシャルビジネス宣言
  - 3 美濃加茂の高校生の想い
- Example:** A diagram titled "Q. 高校魅力が美濃加茂市にどのような影響を与えるのか?" (How does high school charm affect Minonaka City?). It shows a flow from "魅力ある学校" (Charming school) to "人口増加" (Population increase) and "経済効果" (Economic effect). It lists statistics: "人口増加" (Population increase) with a link to <https://www.city.minonaka.lg.jp/sdgs/01.html> and "経済効果" (Economic effect) with a link to <https://www.city.minonaka.lg.jp/sdgs/02.html>.





## チャレンジャー4番 仙田大騎(グランプリ)

### まちに元気があふれだすクラフトビール醸造所を美濃加茂に

美濃加茂の梨やお米などの特産品を使ったり、廃棄するパンの耳を使ったりするオリジナルビールづくりをすることで美濃加茂を盛り上げたい、というビジネスプランを提案。具体的なビジネスモデルと資金計画で本イベントの優勝を勝ち取りました。



# チャレンジャー5番 日比野智哉

## 地元の若者と企業を繋ぐ架け橋へ

高卒から就職する場合に、「1人1社制」という一同驚愕の制度があった。日比野自身もそれを体験し、大きな課題だと感じたため、このルールを変えて高卒でも選択肢の広い就活ができるようなサービスを提案。

### 1人1社制



複数の会社比較ができない



限られた職種の求人



会社の内情が詳しく知れない

CORPBOOK

### 地元の企業と繋がれる

CORPBOOKとは、気になる会社を登録しておくだけで、その会社の見学イベントや求人情報などの案内が届くサービスです。

#### 探す

地元どんな会社や仕事があるのか探してみよう！



#### 見つける

良さそうな会社を見つけて「気になる」をチェック！



#### 案内が届く

気になる会社の職場見学イベントなど最新情報が届く！







## 審査員

ビジネス界の最先端を走る7名の審査員の皆さんがチャレンジャーの事業プランに対してコメントをしました。

- ・牧野 義人(東濃信用金庫 美濃加茂支店長)
- ・林 佳寿彦(東和組立株式会社取締役社長)
- ・奥野 弘基(美濃加茂市商店街連合会 会長)
- ・安藤 摩里(一社 日本少子化対策ネットワーク 代表理事)
- ・和田 昇悟(株式会社美光技研 代表取締役)
- ・渡邊 美由起(美濃加茂商工会議所 女性会会長)
- ・柳澤 大輔(面白法人カヤック社長)

## 投票

審査員のみなさんの点数と、会場にお越しになった参加者のみなさんからの投票を合算しグランプリと準グランプリを決定しました。

25点

### ①地域課題の内在化

地域課題を「自分ごと」として捉えられているか。  
心から事業を「面白い・楽しい・ワクワクする」と感じているか。

25点

### ②地域資本への貢献度

地域資本= その地域の人々の暮らしを本質的に豊かにするモノやコト  
・経済資本(財源や生産性)に貢献しているか  
・社会資本(人のつながり)に貢献しているか  
・環境資本(自然や文化)に貢献しているか

25点

### ③ビジネスモデル

事業の計画性、具体性、収益性

25点

### ④プレゼンテーション

自分のビジョンをしっかりと伝え、観客を魅了できているか。  
(※タイムオーバーは減点対象)

点数は  
5点単位

合計  
100点/人  
(平均70点)

# スペシャルプログラム

## 大島好晶さん発表

美濃加茂で「シリコンバレー化計画」を進める大島好晶氏が、チャレンジャーとは別枠でビジネスプランを発表。起業家を創出すべく、ソーシャルテックカンパニー可茂IT塾を運営。発表はトップバッターを務めた。



## 高校生発表

岐阜県立加茂高等学校、岐阜県立加茂農林高等学校の学生がビジネスプランを発表。アジサイの紫を生かしたスイーツづくりや文化祭再生プロジェクトなど。



## 高校生の発表

美濃加茂市市長と面白法人カヤック代表取締役柳澤氏による対談。「これからの資本主義とビジネスの話をしよう ～地域資本主義とソーシャルビジネス～」をテーマに白熱の対談を繰り広げた。カヤックが取り組む「まちのコイン」の事業を美濃加茂に展開できるのではないかと、という具体的な話からこれからのソーシャルビジネスの話など。





# 写真



# スタッフ

- 総合プロデューサー・演出・音楽：中川直洋  
(公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト)
- ディレクター：東田一起、樽本理子  
(公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト)
- アシスタントディレクター：鈴木日菜子
- パソコン：大島好晶
- 受付：美濃加茂市役所、商工会議所



# サポーター

